

平成 20 年度 宮崎大学 2 次試験前期日程 (数学問題)
 工・医・農 (生物環境科学・応用生物・地域農業システム・獣医)・
 教育文化 (中学数学・中学社会・理科・技術・家庭・初等教育・
 特別支援・社会システム) 学部 平成 20 年 2 月 25 日

- 工学部は, [1] ~ [5] 数 II・III・A・B (120 分)
- 医学部は, [1], [3], [4], [6], [7] 数 II・III・A・B (120 分)
- 農 (生物環境科学・応用生物科学)・教育文化 (中学数学) 学部は,
[2] ~ [5], [8] 数 II・III・A・B (120 分)
- 教育文化 (中学社会, 理科, 技術, 家庭, 初等教育, 特別支援, 社会システム)
学部・農 (地域農業システム・獣医) 学部は, [8] ~ [10] 数 II・A・B (90 分)

1 次の各問に答えよ.

(1) 不等式

$$\log_{\frac{1}{3}}(x-1) + \log_3(x+1) > 3$$

を満たす x の値の範囲を求めよ.

(2) $\frac{\pi}{6} \leq x < \frac{\pi}{2}$ のとき, 等式

$$(1 + \sqrt{3}) \sin x \tan x = 2\sqrt{3} \sin x + (1 - \sqrt{3}) \cos x$$

を満たす x の値を求めよ.

2 微分と積分に関する次の各問に答えよ.

(1) 次の関数を微分せよ.

(i) $y = x \log |x|$

(ii) $y = \frac{e^{2x} - 1}{e^{2x} + 1}$

(2) 次の定積分の値を求めよ.

(i) $\int_0^{\frac{\pi}{2}} x \cos x \, dx$

(ii) $\int_1^2 \frac{1}{x(x+1)} \, dx$

(iii) $\int_0^1 \frac{1}{1+e^x} \, dx$

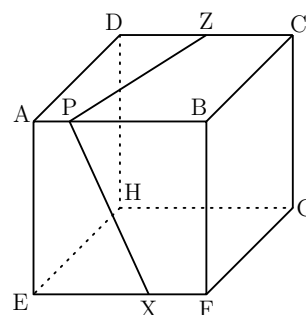
(iv) $\int_0^{\frac{\pi}{4}} \cos 2x \cos 3x \, dx$

3 座標平面において、原点 $O(0, 0)$ 、点 $A(1, 0)$ 、点 $B(1, 2)$ を頂点とする $\triangle OAB$ の内部またはその周上に点 $P(a, b)$ がある. 点 P から 3 辺 OA 、 AB 、 BO までの距離の和を k とする. このとき、次の各問に答えよ.

(1) k を a と b についての 1 次式で表せ.

(2) k の最大値と最小値を求めよ.

4 空間内に右図のような 1 辺の長さが 1 である立方体がある. 辺 EF を $3:1$ に内分する点を X 、辺 CD の中点を Z とする. さらに辺 AB を $t:1-t$ ($0 < t < 1$) に内分する点を P とする. 3 点 P 、 X 、 Z を通る平面と直線 GH との交点を Y とおく. $\overrightarrow{AE} = \vec{a}$ 、 $\overrightarrow{AB} = \vec{b}$ 、 $\overrightarrow{AD} = \vec{c}$ とするとき、次の各問に答えよ.



(1) \overrightarrow{PY} を \vec{a} 、 \vec{b} 、 \vec{c} および t を用いて表せ.

(2) 点 Y が辺 GH 上にあるとき、 t の値の範囲を求めよ.

(3) (2) において四角形 $PXYZ$ がひし形になるとき、 t の値を求めよ.

5 関数

$$f(x) = \frac{1}{2}x + \int_1^x (6t - 4x)t \log t \, dt \quad (x > 0)$$

について、次の各問に答えよ.

(1) $f(x)$ の導関数 $f'(x)$ について、 $f'(x) = 0$ を満たす x の値を求めよ.

(2) $f(x)$ の極値を求めよ.

6 関数

$$f(x) = \frac{1}{2}x + \int_1^{2x} (3t - 4x)t \log t \, dt \quad (x > 0)$$

について、次の各問に答えよ。

- (1) $f(x)$ の導関数 $f'(x)$ について、 $f'(x) = 0$ を満たす x の値を求めよ。
- (2) $f(x)$ の極値を求めよ。

7 座標平面上に点 $P(-l, 0)$ をとる。ただし、 l は正の定数とする。また、原点を中心とする半径 1 の円周上に 2 点 $Q(\cos \theta, -\sin \theta)$, $R(\cos \theta, \sin \theta)$ ($0 < \theta \leq \frac{\pi}{2}$) をとる。△PQR の周の長さを $f(\theta)$ とするとき、次の各問に答えよ。

- (1) $f(\theta)$ を、 l と θ を用いて表せ。
- (2) $f(\theta)$ の最大値を、 l を用いて表せ。

8 A はサイコロを 1 個投げる。そのときの A の得点は、出た目が 2 または 4 のときは 20 点、3 のときは 30 点、6 のときは 50 点、それ以外は 0 点とする。一方、B はコインを 3 枚投げる。そのときの B の得点は、表が 2 枚以上出たときは p 点、それ以外は 0 点とする。A の得点の期待値と B の得点の期待値が等しいとき、次の各問に答えよ。

- (1) A の得点の期待値を求めよ。
- (2) p の値を求めよ。
- (3) A の得点が B の得点より大きくなる確率を求めよ。

9 数列 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和を S_n とする。

$$a_1 = 1, \quad S_{n-1} - a_n = -4 \quad (n = 2, 3, 4, \dots)$$

が成り立つとき、次の各問に答えよ。

- (1) a_2, a_3, a_4, a_5 の値をそれぞれ求めよ。
- (2) 一般項 a_n を求めよ。

10 x についての4次の整式 $f(x)$ は、次の条件 (i), (ii), (iii) を満たしている.

(i) $f(x)$ の4次の係数は1である.

(ii) $f(1) = 0$, $f(2) = -1$ である.

(iii) $f(x)$ を $x^2 - 3x$ で割った余りは $7x + 5$ である.

$f(x)$ を $x^2 - 3x + 2$ で割ったときの商を $g(x)$, 余りを $k(x)$ とするとき、次の各問に答えよ.

(1) $k(x)$ を求めよ.

(2) $g(x)$ を求めよ.

(3) 座標平面上において、3つの関数 $y = x^2 - 3x + 2$, $y = g(x)$, $y = k(x)$ のグラフで囲まれた部分の面積を求めよ.

正解

1 (1) 真数は正であるから

$$x - 1 > 0 \text{ かつ } x + 1 > 0 \text{ すなわち } x > 1 \quad \cdots \textcircled{1}$$

$$\text{不等式から } -\log_3(x-1) + \log_3(x+1) > 3 \text{ ゆえに } \log_3 \frac{x+1}{x-1} > \log_3 27$$

$$\text{底 } 3 \text{ は } 1 \text{ より大きいから } \frac{x+1}{x-1} > 27$$

$$\textcircled{1} \text{ に注意して, これを解くと } 1 < x < \frac{14}{13}$$

(2) $\frac{\pi}{6} \leq x < \frac{\pi}{2} \cdots \textcircled{1}$ より $\sin x \neq 0$ であるから, 与えられた等式は

$$(1 + \sqrt{3}) \tan x = 2\sqrt{3} + \frac{1 - \sqrt{3}}{\tan x}$$

$$\text{整理すると } (\sqrt{3} + 1) \tan^2 x - 2\sqrt{3} \tan x + (\sqrt{3} - 1) = 0$$

$$\text{ゆえに } (\tan x - 1) \{ (\sqrt{3} + 1) \tan x - (\sqrt{3} - 1) \} = 0$$

$\textcircled{1}$ より, $\tan x \geq \frac{1}{\sqrt{3}}$ であるから

$$\frac{1}{\sqrt{3}} - \frac{\sqrt{3} - 1}{\sqrt{3} + 1} = \frac{4}{3} \left(\sqrt{3} - \frac{3}{2} \right) > 0$$

したがって $\tan x = 1$ $\textcircled{1}$ に注意して $x = \frac{\pi}{4}$

$$\text{補足 } \tan \frac{\pi}{12} = \tan \left(\frac{\pi}{3} - \frac{\pi}{4} \right) = \frac{\tan \frac{\pi}{3} - \tan \frac{\pi}{4}}{1 + \tan \frac{\pi}{3} \tan \frac{\pi}{4}} = \frac{\sqrt{3} - 1}{1 + \sqrt{3}} = 2 - \sqrt{3}$$

別解 与えられた等式から

$$(1 + \sqrt{3}) \sin^2 x = 2\sqrt{3} \sin x \cos x + (1 - \sqrt{3}) \cos^2 x$$

$$\sin^2 x = \frac{1 - \cos 2x}{2}, \quad \sin x \cos x = \frac{1}{2} \sin 2x, \quad \cos^2 x = \frac{1 + \cos 2x}{2} \text{ より}$$

$$\sqrt{3} \sin 2x + \cos 2x = \sqrt{3} \text{ ゆえに } \sin \left(2x + \frac{\pi}{6} \right) = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$\textcircled{1}$ より $\frac{\pi}{2} \leq 2x + \frac{\pi}{6} < \frac{7}{6}\pi$ であるから

$$2x + \frac{\pi}{6} = \frac{2}{3}\pi \text{ よって } x = \frac{\pi}{4}$$

2 (1) (i) $y = x \log |x|$ より

$$y' = (x)' \log |x| + x(\log |x|)' = \log |x| + 1$$

(ii) $y = \frac{e^{2x} - 1}{e^{2x} + 1} = 1 - \frac{2}{e^{2x} + 1}$ より

$$y' = -2 \cdot \frac{-(e^{2x} + 1)'}{(e^{2x} + 1)^2} = \frac{4e^{2x}}{(e^{2x} + 1)^2}$$

(2) (i) $\int_0^{\frac{\pi}{2}} x \cos x \, dx = \int_0^{\frac{\pi}{2}} x(\sin x)' \, dx$

$$= \left[x \sin x \right]_0^{\frac{\pi}{2}} - \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin x \, dx$$

$$= \frac{\pi}{2} + \left[\cos x \right]_0^{\frac{\pi}{2}} = \frac{\pi}{2} - 1$$

(ii) $\int_1^2 \frac{1}{x(x+1)} \, dx = \int_1^2 \left(\frac{1}{x} - \frac{1}{x+1} \right) \, dx$

$$= \left[\log \frac{x}{x+1} \right]_1^2 = \log \frac{4}{3}$$

(iii) $\int_0^1 \frac{1}{1+e^x} \, dx = \int_0^1 \left(1 - \frac{e^x}{1+e^x} \right) \, dx$

$$= \left[x - \log(1+e^x) \right]_0^1$$

$$= 1 - \log \frac{1+e}{2} = \log \frac{2e}{1+e}$$

別解 $t = e^x$ とおくと $\frac{dt}{dx} = e^x = t$,

x	$0 \rightarrow 1$
t	$1 \rightarrow e$

$$\int_0^1 \frac{1}{1+e^x} \, dx = \int_1^e \frac{1}{1+t} \cdot \frac{dt}{t} = \left[\log \frac{t}{t+1} \right]_1^e = \log \frac{2e}{e+1}$$

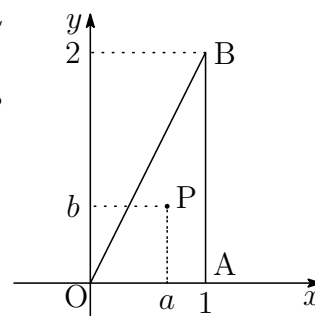
(iv) $\int_0^{\frac{\pi}{4}} \cos 2x \cos 3x \, dx = \frac{1}{2} \int_0^{\frac{\pi}{4}} (\cos 5x + \cos x) \, dx$

$$= \frac{1}{2} \left[\frac{1}{5} \sin 5x + \sin x \right]_0^{\frac{\pi}{4}} = \frac{\sqrt{2}}{5}$$

- 3 (1) $P(a, b)$ から OA , AB までの距離は、それぞれ b , $1 - a$ である。

直線 OB の方程式は $2x - y = 0$ であるから、 P から OB までの距離は、 $b \leq 2a$ に注意して

$$\frac{|2a - b|}{\sqrt{2^2 + (-1)^2}} = \frac{2a - b}{\sqrt{5}}$$



よって $k = b + (1 - a) + \frac{2a - b}{\sqrt{5}} = \frac{2 - \sqrt{5}}{\sqrt{5}}a + \frac{\sqrt{5} - 1}{\sqrt{5}}b + 1$

- (2) (1) の結果より、 k は a, b の 1 次式であるから、 k の最大値・最小値は境界線上でとるから、 $\triangle OAB$ の周上における k の値を調べればよい。

- i) P が OA 上にあるとき、 $b = 0$ より

$$k = \frac{2 - \sqrt{5}}{\sqrt{5}}a + 1 \quad (0 \leq a \leq 1)$$

よって $\frac{2}{\sqrt{5}} \leq k \leq 1$

- ii) P が AB 上にあるとき、 $a = 1$ より

$$k = \frac{2 - \sqrt{5}}{\sqrt{5}} + \frac{\sqrt{5} - 1}{\sqrt{5}}b + 1 = \frac{\sqrt{5} - 1}{\sqrt{5}}b + \frac{2}{\sqrt{5}} \quad (0 \leq b \leq 2)$$

よって $\frac{2}{\sqrt{5}} \leq k \leq 2$

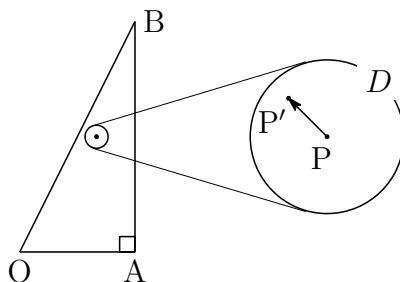
- iii) P が OB 上にあるとき、 $b = 2a$ より

$$k = \frac{2 - \sqrt{5}}{\sqrt{5}}a + \frac{\sqrt{5} - 1}{\sqrt{5}} \cdot 2a + 1 = a + 1 \quad (0 \leq a \leq 1)$$

よって $1 \leq k \leq 2$

i), ii), iii) より $\begin{cases} \text{最大値 } 2 & (a = 1, b = 2 \text{ のとき}) \\ \text{最小値 } \frac{2\sqrt{5}}{5} & (a = 1, b = 0 \text{ のとき}) \end{cases}$

解説 k は a, b の 1 次式であるから, $\triangle OAB$ の内部で最大値・最小値をとることはない. k を最大とする点 P が $\triangle OAB$ の内部にあると仮定すると, P を含み, $\triangle OAB$ の内部にある領域 D をとることができる (P の近傍).



(1) で求めた

$$k = \frac{2 - \sqrt{5}}{\sqrt{5}}a + \frac{\sqrt{5} - 1}{\sqrt{5}}b + 1$$

の a の係数が負, b の係数が正であるから, P よりも a の値が小さく, b の値が大きい点 $P' \in D$ をとることができる. このとき, P' における k の値が P における k の値よりも大きい. このことは, P が k の最大値を与える点であることに反する. したがって, k の最大値を与える点は $\triangle OAB$ の周上にある.

同様に, k の最小値を与える点も $\triangle OAB$ の周上にある.

別解 $k = \frac{2 - \sqrt{5}}{\sqrt{5}}a + \frac{\sqrt{5} - 1}{\sqrt{5}}b + 1$ より

$$b = \frac{3 - \sqrt{5}}{4}a + \frac{5 + \sqrt{5}}{4}(k - 1) \quad \dots (*)$$

ゆえに, $P(a, b)$ を通る傾き $\frac{3 - \sqrt{5}}{4}$ の直線上の点における k の値は等しい.

(*) より, この直線の y 切片は $\frac{5 + \sqrt{5}}{4}(k - 1)$ である.

したがって, $0 < \frac{3 - \sqrt{5}}{4} < 2$ より, 直線が $B(1, 2)$ を通るとき k は最大であり, 直線が $A(1, 0)$ を通るとき k は最小である.

よって $\begin{cases} \text{最大値 } 2 & (a = 1, b = 2 \text{ のとき}) \\ \text{最小値 } \frac{2\sqrt{5}}{5} & (a = 1, b = 0 \text{ のとき}) \end{cases}$

$$\boxed{4} \quad (1) \text{ 条件から } \overrightarrow{AP} = t\vec{b}, \quad \overrightarrow{AX} = \vec{a} + \frac{3}{4}\vec{b}, \quad \overrightarrow{AZ} = \vec{c} + \frac{1}{2}\vec{b}$$

$$\text{したがって } \overrightarrow{PX} = \vec{a} + \left(\frac{3}{4} - t\right)\vec{b}, \quad \overrightarrow{PZ} = \vec{c} + \left(\frac{1}{2} - t\right)\vec{b}$$

Yは平面PXZ上にあるから、 α, β を用いて

$$\begin{aligned} \overrightarrow{AY} &= \overrightarrow{AP} + \alpha\overrightarrow{PX} + \beta\overrightarrow{PZ} \quad \dots \textcircled{1} \\ &= t\vec{b} + \alpha\left\{\vec{a} + \left(\frac{3}{4} - t\right)\vec{b}\right\} + \beta\left\{\vec{c} + \left(\frac{1}{2} - t\right)\vec{b}\right\} \end{aligned}$$

また、Yは直線GH上にあるから、上式の \vec{a} と \vec{c} の係数に注意すると、 $\alpha = 1, \beta = 1$ である。したがって

$$\overrightarrow{AY} = \vec{a} + \vec{c} + \left(\frac{5}{4} - t\right)\vec{b} \quad \dots \textcircled{2}$$

$$\begin{aligned} \text{よって } \overrightarrow{PY} &= \overrightarrow{AY} - \overrightarrow{AP} \\ &= \vec{a} + \vec{c} + \left(\frac{5}{4} - t\right)\vec{b} - t\vec{b} \\ &= \vec{a} + \left(\frac{5}{4} - 2t\right)\vec{b} + \vec{c} \end{aligned}$$

(2) Yが辺GH上にあるとき、②から

$$0 \leq \frac{5}{4} - t \leq 1 \quad \text{これを } 0 < t < 1 \text{ に注意して解くと } \frac{1}{4} \leq t < 1$$

(3) ①に $\alpha = 1, \beta = 1$ を代入すると $\overrightarrow{PY} = \overrightarrow{PX} + \overrightarrow{PZ}$

したがって、四角形PXYZは平行四辺形である。

これがひし形であるためには、 $|\overrightarrow{PX}|^2 = |\overrightarrow{PZ}|^2$ である。

ここで、 $|\vec{a}| = |\vec{b}| = |\vec{c}| = 1, \vec{a} \cdot \vec{b} = \vec{b} \cdot \vec{c} = \vec{c} \cdot \vec{a} = 0$ であるから

$$1 + \left(\frac{3}{4} - t\right)^2 = 1 + \left(\frac{1}{2} - t\right)^2 \quad \text{これを解いて } t = \frac{5}{8}$$

別解 四角形PXYZは平行四辺形であるから、これがひし形であるためには、 $\overrightarrow{PY} \perp \overrightarrow{XZ}$ である。したがって、 $\overrightarrow{PY} \cdot \overrightarrow{XZ} = 0$ より

$$\left\{\vec{a} + \left(\frac{5}{4} - 2t\right)\vec{b} + \vec{c}\right\} \cdot \left(-\vec{a} - \frac{1}{4}\vec{b} + \vec{c}\right) = 0$$

$$\text{ゆえに } -1 - \frac{1}{4}\left(\frac{5}{4} - 2t\right) + 1 = 0 \quad \text{これを解いて } t = \frac{5}{8}$$

$$\begin{aligned} \boxed{5} \quad (1) \quad f(x) &= \frac{1}{2}x + \int_1^x (6t - 4x)t \log t \, dt \\ &= \frac{1}{2}x + 6 \int_1^x t^2 \log t \, dt - 4x \int_1^x t \log t \, dt \quad \dots \textcircled{1} \end{aligned}$$

これを微分すると

$$\begin{aligned} f'(x) &= \frac{1}{2} + 6x^2 \log x - 4 \int_1^x t \log t \, dt - 4x \cdot x \log x \\ &= \frac{1}{2} + 2x^2 \log x - 4 \int_1^x t \log t \, dt \quad \dots \textcircled{2} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{ここで} \quad \int_1^x t \log t \, dt &= \frac{1}{2} \int_1^x (t^2)' \log t \, dt \\ &= \frac{1}{2} \left[t^2 \log t \right]_1^x - \frac{1}{2} \int_1^x t \, dt \\ &= \frac{1}{2} x^2 \log x - \frac{1}{4} \left[t^2 \right]_1^x \\ &= \frac{1}{2} x^2 \log x - \frac{1}{4} x^2 + \frac{1}{4} \quad \dots \textcircled{3} \end{aligned}$$

③を②に代入すると

$$\begin{aligned} f'(x) &= \frac{1}{2} + 2x^2 \log x - 4 \left(\frac{1}{2} x^2 \log x - \frac{1}{4} x^2 + \frac{1}{4} \right) \\ &= x^2 - \frac{1}{2} \quad \dots \textcircled{4} \end{aligned}$$

$$f'(x) = 0 \text{ のとき } x^2 - \frac{1}{2} = 0 \quad x > 0 \text{ に注意して } x = \frac{\sqrt{2}}{2}$$

$$(2) \quad \textcircled{4} \text{ を積分すると } f(x) = \frac{x^3}{3} - \frac{x}{2} + C \quad (C \text{ は積分定数})$$

①より, $f(1) = \frac{1}{2}$ であるから, 上式に $x = 1$ を代入すると

$$\frac{1}{3} - \frac{1}{2} + C = \frac{1}{2} \quad \text{ゆえに } C = \frac{2}{3} \quad \text{よって } f(x) = \frac{x^3}{3} - \frac{x}{2} + \frac{2}{3}$$

増減表は右のようになるから

$$x = \frac{\sqrt{2}}{2} \text{ のとき極小値 } \frac{4 - \sqrt{2}}{6}$$

x	(0)	...	$\frac{\sqrt{2}}{2}$...
$f'(x)$		-	0	+
$f(x)$		↘	極小	↗

$$\begin{aligned} \boxed{6} \quad (1) \quad f(x) &= \frac{1}{2}x + \int_1^{2x} (3t - 4x)t \log t \, dt \\ &= \frac{1}{2}x + 3 \int_1^{2x} t^2 \log t \, dt - 4x \int_1^{2x} t \log t \, dt \quad \dots \textcircled{1} \end{aligned}$$

これを微分すると

$$\begin{aligned} f'(x) &= \frac{1}{2} + 3 \cdot 2 \cdot (2x)^2 \log 2x - 4 \int_1^{2x} t \log t \, dt - 4x \cdot 2 \cdot 2x \log 2x \\ &= \frac{1}{2} + 8x^2 \log 2x - 4 \int_1^{2x} t \log t \, dt \quad \dots \textcircled{2} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{ここで} \quad \int_1^{2x} t \log t \, dt &= \frac{1}{2} \int_1^{2x} (t^2)' \log t \, dt \\ &= \frac{1}{2} \left[t^2 \log t \right]_1^{2x} - \frac{1}{2} \int_1^{2x} t \, dt \\ &= \frac{1}{2} (2x)^2 \log 2x - \frac{1}{4} \left[t^2 \right]_1^{2x} \\ &= 2x^2 \log 2x - x^2 + \frac{1}{4} \quad \dots \textcircled{3} \end{aligned}$$

③を②に代入すると

$$\begin{aligned} f'(x) &= \frac{1}{2} + 8x^2 \log 2x - 4 \left(2x^2 \log 2x - x^2 + \frac{1}{4} \right) \\ &= 4x^2 - \frac{1}{2} \quad \dots \textcircled{4} \end{aligned}$$

$$f'(x) = 0 \text{ のとき } 4x^2 - \frac{1}{2} = 0 \quad x > 0 \text{ に注意して } x = \frac{\sqrt{2}}{4}$$

$$(2) \quad \textcircled{4} \text{ を積分すると } f(x) = \frac{4}{3}x^3 - \frac{x}{2} + C \quad (C \text{ は積分定数})$$

①より, $f\left(\frac{1}{2}\right) = \frac{1}{4}$ であるから, 上式に $x = \frac{1}{2}$ を代入すると

$$\frac{1}{6} - \frac{1}{4} + C = \frac{1}{4} \quad \text{ゆえに } C = \frac{1}{3} \quad \text{よって } f(x) = \frac{4}{3}x^3 - \frac{x}{2} + \frac{1}{3}$$

増減表は右のようになるから

$$x = \frac{\sqrt{2}}{4} \text{ のとき極小値 } \frac{4 - \sqrt{2}}{12}$$

x	(0)	...	$\frac{\sqrt{2}}{4}$...
$f'(x)$		-	0	+
$f(x)$		\searrow	極小	\nearrow

解説 関数 $f(x)$ の原始関数の 1 つを $F(x)$ とすると

$$\int_a^{g(x)} f(t) dt = \left[F(t) \right]_a^{g(x)} = F(g(x)) - F(a)$$

これを x で微分すると

$$\frac{d}{dx} \int_a^{g(x)} f(t) dt = F'(g(x))g'(x) = f(g(x))g'(x)$$

本題では

$$\frac{d}{dx} \int_1^{2x} f(t) dt = f(2x) \cdot (2x)' = 2f(2x)$$

また, **5**, **6** の関数をそれぞれ

$$f_5(x) = \frac{1}{2}x + \int_1^x (6t - 4x)t \log t dt$$

$$f_6(x) = \frac{1}{2}x + \int_1^{2x} (3t - 4x)t \log t dt$$

とおくと

$$f_5(2x) = x + \int_1^{2x} (6t - 8x)t \log t dt = 2f_6(x)$$

$f_6(x) = \frac{1}{2}f_5(2x)$ であるから, f_6 の極値は f_5 の極値の $\frac{1}{2}$ で, そのときの x の値も $\frac{1}{2}$ であることが分かる.

$$\boxed{7} \quad (1) \quad RQ = 2 \sin \theta, \quad PR = PQ = \sqrt{(\cos \theta + l)^2 + \sin^2 \theta} = \sqrt{2l \cos \theta + l^2 + 1}$$

$$\text{よって} \quad f(\theta) = 2 \sin \theta + 2\sqrt{2l \cos \theta + l^2 + 1}$$

$$(2) \quad g(\theta) = \sqrt{2l \cos \theta + l^2 + 1} \text{ とおくと} \quad g'(\theta) = -\frac{l \sin \theta}{g(\theta)}$$

$f(\theta) = 2 \sin \theta + 2g(\theta)$ を微分すると

$$\begin{aligned} f'(\theta) &= 2 \cos \theta - \frac{2l \sin \theta}{g(\theta)} = \frac{2}{g(\theta)} \{g(\theta) \cos \theta - l \sin \theta\} \\ &= \frac{2\{(2l \cos \theta + l^2 + 1) \cos^2 \theta - l^2 \sin^2 \theta\}}{g(\theta)\{g(\theta) \cos \theta + l \sin \theta\}} \\ &= \frac{2\{l^2(2 \cos^2 \theta - 1) + 2l \cos^3 \theta + \cos^2 \theta\}}{g(\theta)\{g(\theta) \cos \theta + l \sin \theta\}} \\ &= \frac{2(l + \cos \theta)\{l(2 \cos^2 \theta - 1) + \cos \theta\}}{g(\theta)\{g(\theta) \cos \theta + l \sin \theta\}} \end{aligned}$$

$$0 < \theta \leq \frac{\pi}{2} \text{ より} \quad \frac{l + \cos \theta}{g(\theta)\{g(\theta) \cos \theta + l \sin \theta\}} > 0$$

ここで, $h(\theta) = l(2 \cos^2 \theta - 1) + \cos \theta$ とおくと

$$h'(\theta) = -\sin \theta(4l \cos \theta + 1) < 0$$

ゆえに, $h(\theta)$ は単調減少で, $h\left(\frac{\pi}{4}\right) = \frac{1}{\sqrt{2}}$, $h\left(\frac{\pi}{2}\right) = -l$ であるから

$$h(\alpha) = 0 \quad \left(\frac{\pi}{4} < \alpha < \frac{\pi}{2}\right)$$

をみたす α が唯一存在する.

$$l(2 \cos^2 \alpha - 1) + \cos \alpha = 0 \quad \text{すなわち} \quad \cos \alpha = \frac{-1 + \sqrt{8l^2 + 1}}{4l}$$

$f'(\theta)$ と $h(\theta)$ の符号は一致するから, $f(\theta)$ の増減表は次のようになる.

θ	(0)	...	α	...	$\frac{\pi}{2}$
$f'(\theta)$		+	0	-	
$f(\theta)$		↗	極大	↘	

よって, $f(\theta)$ の最大値は

$$\begin{aligned} f(\alpha) &= 2 \sin \alpha + 2\sqrt{2l \cos \alpha + l^2 + 1} \\ &= 2\sqrt{1 - \cos^2 \alpha} + 2\sqrt{2l \cos \alpha + l^2 + 1} \\ &= \frac{1}{2l} \sqrt{8l^2 - 2} + 2\sqrt{8l^2 + 1} + \sqrt{4l^2 + 2} + 2\sqrt{8l^2 + 1} \end{aligned}$$

- 8 (1) A の確率分布表は、次のようになる。

得点	0	20	30	50	合計
確率	$\frac{2}{6}$	$\frac{2}{6}$	$\frac{1}{6}$	$\frac{1}{6}$	1

よって、A の期待値は

$$20 \times \frac{2}{6} + 30 \times \frac{1}{6} + 50 \times \frac{1}{6} = \mathbf{20} \text{ (点)}$$

- (2) コインを 3 枚投げ、表が 2 枚以上である確率は

$${}_3C_2 \left(\frac{1}{2}\right)^3 + \left(\frac{1}{2}\right)^3 = \frac{1}{2}$$

したがって、B の確率分布表は、次のようになる。

得点	0	p	合計
確率	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{2}$	1

B の期待値は $\frac{1}{2}p$ となり、これが A の期待値に等しいから

$$\frac{1}{2}p = 20 \quad \text{よって} \quad \mathbf{p = 40}$$

- (3) A の得点が B の解く点より大きくなるのは、次の 2 つの場合である。

- i) B が 40 点で A が 50 点
- ii) B が 0 点で A が 0 点以外

よって、求める確率は

$$\frac{1}{2} \times \frac{1}{6} + \frac{1}{2} \times \frac{4}{6} = \frac{\mathbf{5}}{\mathbf{12}}$$

- 9 (1) 漸化式から, $S_1 = a_1 = 1$, $a_n = S_{n-1} + 4$. また, $S_n = S_{n-1} + a_n$
 上の2式に順次 $n = 2, 3, 4, 5$ を代入すると

$$\begin{aligned} a_2 &= S_1 + 4 = 1 + 4 = 5, & S_2 &= S_1 + a_2 = 1 + 5 = 6, \\ a_3 &= S_2 + 4 = 6 + 4 = 10, & S_3 &= S_2 + a_3 = 6 + 10 = 16, \\ a_4 &= S_3 + 4 = 16 + 4 = 20, & S_4 &= S_3 + a_4 = 16 + 20 = 36, \\ a_5 &= S_4 + 4 = 36 + 4 = 40 \end{aligned}$$

よって $a_2 = 5$, $a_3 = 10$, $a_4 = 20$, $a_5 = 40$

- (2) $n \geq 2$ のとき $a_n = S_{n-1} + 4$, $a_{n+1} = S_n + 4$

上の第2式から第1式の辺々を引くと $a_{n+1} - a_n = S_n - S_{n-1}$

また, $S_n - S_{n-1} = a_n$ であるから $a_{n+1} - a_n = a_n$

したがって $a_{n+1} = 2a_n$ ゆえに $a_n = a_2 \cdot 2^{n-2} = 5 \cdot 2^{n-2}$

よって
$$a_n = \begin{cases} 1 & (n = 1) \\ 5 \cdot 2^{n-2} & (n = 2, 3, \dots) \end{cases}$$

- 10 (1) (i), (iii) より, $f(x) = (x^2 - 3x)(x^2 + px + q) + 7x + 5$ とおける (p, q は定数). (ii) を上式に適用すると

$$\begin{array}{lll} (1-3)(1+p+q) + 12 = 0 & \text{ゆえに} & p+q = 5 \\ (4-6)(4+2p+q) + 19 = -1 & \text{ゆえに} & 2p+q = 6 \end{array}$$

これを解いて $p = 1, q = 4$
したがって

$$\begin{aligned} f(x) &= (x^2 - 3x)(x^2 + x + 4) + 7x + 5 \\ &= \{(x^2 - 3x + 2) - 2\}\{(x^2 - 3x + 2) + (4x + 2)\} + 7x + 5 \\ &= (x^2 - 3x + 2)^2 + 4x(x^2 - 3x + 2) - 2(4x + 2) + 7x + 5 \\ &= (x^2 - 3x + 2)(x^2 + x + 2) - x + 1 \end{aligned}$$

よって $k(x) = -x + 1$

- (2) (1) の結果から $g(x) = x^2 + x + 2$

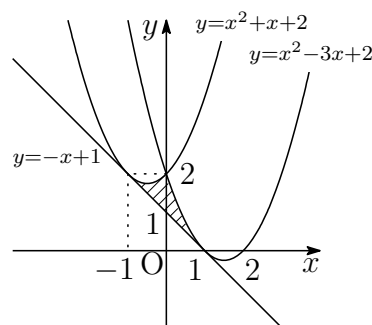
- (3) $y = x^2 - 3x + 2 \cdots \textcircled{1}$, $y = x^2 + x + 2 \cdots \textcircled{2}$, $y = -x + 1 \cdots \textcircled{3}$ とおく.

①, ② を解くと 交点 $(0, 2)$,

①, ③ を解くと 接点 $(1, 0)$,

②, ③ を解くと 接点 $(-1, 2)$

したがって, ①, ②, ③ で囲まれ部分は,
下の図の斜線部分である.
斜線部分の面積を S とすると



$$\begin{aligned} S &= \int_{-1}^0 \{(x^2 + x + 2) - (-x + 1)\} dx \\ &\quad + \int_0^1 \{(x^2 - 3x + 2) - (-x + 1)\} dx \\ &= \int_{-1}^0 (x+1)^2 dx + \int_0^1 (x-1)^2 dx \\ &= \left[\frac{1}{3}(x+1)^3 \right]_{-1}^0 + \left[\frac{1}{3}(x-1)^3 \right]_0^1 = \frac{2}{3} \end{aligned}$$